



4月16日(土)視聴覚ライブラリーで、「**ルール講習会**」を開催しました。講師に太田衣香氏(ITF 国際審判員)を迎え、**今年度の変更点**、**知っておきたいルール**など、大会を運営するにあたって円滑に試合が進むよう勉強しました。会員の皆様も、もう一度ルールについて確認しておきましょう。



「JTA テニスルールブックから抜粋

## 2022 年度の変更点

### 1 電子機器の使用禁止

\*スマートウォッチは電源オフでも着用できない。

### 2 ノード方式について

\*デユースの後、ノードでプレーすべき所をレシーバーチョイスなしでデユースコートから1ポイントをプレーし間違いに気がついた場合は、その結果をそのまま成立させ、そのゲームは終了したものとする。

\*誤りに気がついた時ゲーム終了だったら、その結果は成立する。

### 3 クレーコートでは、相手プレーヤー・チームにボールマークの確認を要求できる。

### 4 着替え

\*セットブレイク時に着替えることができる。

女子→トイレブレイクを使ってコートを離れることができる。

男子→コート上での着替えに不都合がある場合に限り、コートを離れることができる。

## 知っておきたいルール

### 1 ジャッジの訂正

\***すぐに間違いを認め訂正したとき1回目はリプレイとなる。**ただし、明らかにエースとなる場合は、ミスジャッジをしたプレーヤーの失点。2回目以降はそのたびに失点となる。

\*ダブルスでペアの判断が食い違ったとしても「フォルト」「アウト」をコールしたプレーヤーがグッドに訂正した場合は、1回目に限り、リプレイ(ポイントレット)となる。

### 2 間違っただけでエンドにいることが分かった場合、直ちに間違いを訂正し、スコアに応じた正しいエンドからサーブをする。

### 3 サーバーの順番が間違っていることに気づいたときは、すぐに本来のサーバーに代わる。

\*気づいたとき、すでにゲームが終了していた場合は、入れ替わったままの順番で続ける。

\*ダブルスでペア同士のサービスの順番が間違っていた場合は、間違いが気づく前に打たれていたフォルトは取り消されない。

### 4 レシーブの隊形が入れ替わっていることに気づいたときは、そのゲームだけは間違っただけでプレーを続け、そのチームが次にレシーブする順番のゲームになったときに、本来の隊形に戻す。

### 5 サーブされたボールが地面に落ちる前にネットポスト、シングルスティックに触れた場合はフォルト。それ以外のインプレー中に触れたとしても、正しく相手のコート内に入ったときは有効。

### 6 ポイントとポイントの間は **25 秒以内**。

\*エンドの交代は 90 秒以内

\*タイブレイク中は、エンドを交代するときでも休憩はできない。

### 7 タッチ、ノットアップ、スルー、ファウルショットはどちらのプレーヤーもコールできる。

**コールした選手の判断を尊重する。**

### 8 フットフォルトはプレーヤーがコールすることはできない。

\*ロービングアンパイアを呼んで、コート内(審判台の横)で見ってもらう。

\*ロービングアンパイアは、コートの外からフットフォルトをコールすることはできない。

ジャッジは  
100%の確信を  
もってコール!

大会は、「ロービングアンパイア制度」を採用しています。こんなときはロービングアンパイアを呼んで解決しましょう。

●相手プレーヤーの言動やコール、フットフォルトなどに疑問、不服があるとき

●プレーヤー同志で、解決できないようなトラブルが起きたとき

